



文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（先端型）」

女性研究者 人材不足戦国時代を 乗り越える

令和4年度
事業報告書

DIVERSITY

Contents

ごあいさつ	1
和田 隆志 金沢大学長	1
長谷部 徳子 金沢大学学長補佐(ダイバーシティ推進担当) 金沢大学ダイバーシティ推進機構男女共同参画推進ユニット長	1
事業概要	2
実施体制	2
1. 女性研究者の研究力強化と それによる上位職への登用促進	3
女性研究者海外派遣支援	3
海外派遣に向けた英語研修	4
女性研究者大型研究費申請支援	5
2. 女性研究者の裾野拡大・採用拡大	6
大学間人材交流調査	6
博士後期課程の女子学生育成	6
ICTを活用したクロスアポイントメント制度の充実	7
分野別人材交流会開催支援	7
3. より広いダイバーシティ研究環境の 形成に向けた意識啓発・行動改革	8
男性育児休業取得促進	8
女性教員の業務マネジメントサポート	9
ダイバーシティ研究推進機構キックオフシンポジウムの開催	9
その他の取組	10
ダイバーシティ推進機構 男女共同参画推進ユニット スタッフ	

◆ごあいさつ



金沢大学長
和田 隆志

金沢大学は「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という基本理念に立脚し、「金沢大学未来ビジョン『志』」を掲げ「オール金沢大学で『未来知』により社会に貢献する」ことを目指しています。その実現には、学生・教職員に加え、卒業生・修了生、地域住民や産業界などの多くのステークホルダーの皆様とともに取り組むことが重要であると考えています。年齢、性別、国籍など属性が異なる多様な人材が、お互いを尊重し合い、一人ひとりが個性と能力を十分に発揮できる環境が必要です。

本学では、ダイバーシティ環境の整備推進に全学を挙げて取り組んでおります。文部科学省の科学技術人材育成費補助事業の採択も得て、さらに活動を大きく展開させています。体制面では、男女共同参画キャリアデザインラボラトリーを発展的に改組し、令和4年4月にダイバーシティ推進機構を設置いたしました。大きな理念・目標に向かい、女性研究者等の支援、外国人研究者・留学生の支援、LGBTQ+等の多様な背景や障がいをもつ方々への支援に力を注ぎ、個性と能力を十分に発揮できる環境構築を進めています。また、関係機関等との協力関係を深めながら、広域の連携事業も実施しております。

私が強い信念とするのは、「人は宝、財産」です。誰もが自分らしく活躍できる環境づくりに、引き続き尽力してまいります。そして、成果を地域全体に波及させ、国内外に発信してまいります。本報告書が本学の活動へのご理解を深める一助となることを祈念するとともに、今後ともご支援ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。



金沢大学学長補佐（ダイバーシティ推進担当）
金沢大学ダイバーシティ推進機構男女共同参画推進ユニット長

長谷部 徳子

金沢大学では、平成13年度に男女共同参画推進委員会を設置して以来、意欲ある女性研究者が活躍できる環境の整備や、北陸地域におけるネットワークの構築に取り組んでまいりました。また女性研究者の割合や採用比率の目標値を設定し、女性限定公募を活用することによる目標値クリアを目指してまいりましたが、まだまだ優秀な女性人材の掘り起こしが足りていないと実感しています。

令和3年度に採択を受けました「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」では、海外派遣や大型研究費申請支援等、直接的な支援により女性研究人材の育成を加速するとともに、より幅広いダイバーシティ環境の実現が女性研究者の活躍促進には不可欠との考えから、男性の育児休業取得促進や、これまで構築した人的ネットワークやICTを活用することによる研究人材交流の活性化に取り組んでいます。

今年度は、本事業で掲げた男性教員の育児休業取得率の目標値を無事達成いたしました。社会の変化に伴い、大学で活躍する皆様の意識も着実に変わってきていることを感じます。女性研究者の割合にも目標値を設定しておりましたが、こちらは学内意識の醸成は進んでいるものの、人材不足により、達成にはもうひと頑張り・ひと工夫が必要な情勢です。

本取組を通じて、研究者にとってより良いダイバーシティ研究環境を当たり前にし、優秀な女性研究者が生き生きと活躍できる大学を目指すとともに、HWRNや全国ダイバーシティネットワークと協調・協働することにより、北陸地域全体、ひいては我が国のダイバーシティ環境の実現につながることを目指したいと思っております。今後とも本事業の取組にご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

◆ 事業概要

女性研究者 人材不足戦国時代を 乗り越える

北陸地域の女性研究者の活躍推進を牽引してきた金沢大学の実績を基盤に、女性研究者の研究力強化とそれによる上位職登用推進、女性研究者の裾野拡大・採用拡大、より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革のための取組を実施し、女性研究人材育成と活躍環境の最適化を目指します。

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

- 大学間人材交流調査会議**
全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロックの参加機関と協同し、女性研究者の別居婚の解消や別居婚世帯への支援策を議論するための調査と会議を実施します。
- 博士後期課程女子学生育成**
金沢大学の「次世代籍読人材開発プロジェクト」による経済支援に加え、博士後期課程女子学生のキャリア形成や研究推進に対するサポート体制を構築します。
- ICTを活用したクロスアポイントメント制度**
多様な女性研究人材の採用の拡大や、育児・介護休業中の代替確保の容易化に向け、ICTを活用したクロスアポイントメント制度を構築します。
- 分野別研究人材交流会支援**
産官学の人材交流を活性化するため、所属する学会等で研究者・技術者および女子学生の交流を促す取り組みを、リーダーシップをとって企画することを応援します。



女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

- 女性研究者の海外派遣**
女性研究者の海外派遣を支援し、海外の優れたキャリアモデルに学ぶことによるマネジメント能力の向上、国際的な研究ネットワークの構築、派遣中の研究専念と国際共同研究による研究力向上、国際共著論文の増加、海外での生活による語学力の向上を図ります。
- 大型研究費申請支援**
大型研究費に申請した女性教員を対象に研究費を助成することにより、女性研究者の大型研究費への挑戦的な申請を後押しし、女性研究者の上位職登用につなげます。

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

- 男性教員の育児休業取得促進**
男性の育児休業への意識啓発のためのセミナー開催や男性の育児休業に関する相談対応を実施します。
- 女性教員の研究時間確保のための業務マネジメントサポート**
女性研究者の教育・運営に関する相談、教育に関するクロスアポイントメント制度の活用提案や、部局内の運営業務に関してアドバイスを行います。
- シンポジウムの開催**
より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発のためのシンポジウムを開催します。
- Webによる情報発信**
Webサイト等を通じて、ダイバーシティ研究環境の形成に関する情報を発信します。

1 女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2 女性研究者の裾野拡大・採用拡大

◆ 実施体制



3 より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

◆ 事業 1



女性研究者の **研究力強化** と
それによる **上位職への登用促進**



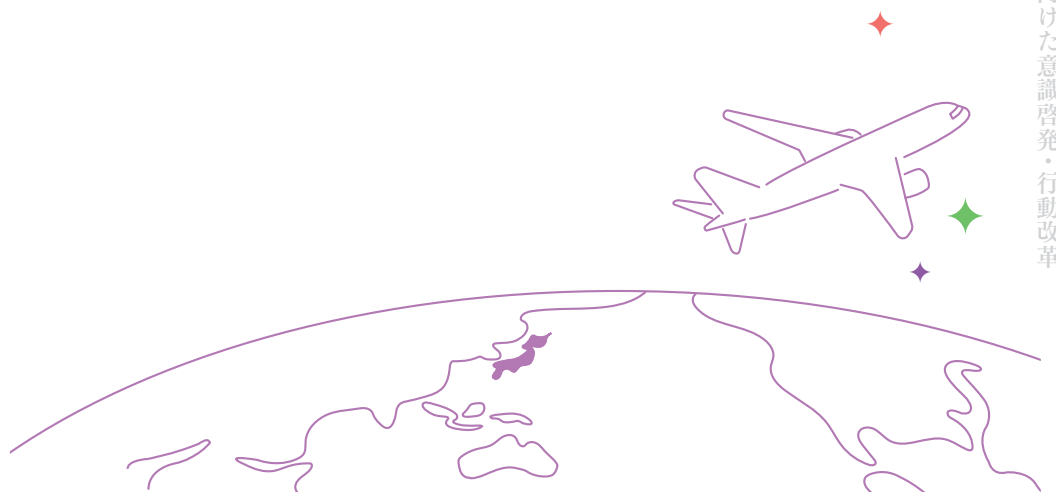
女性研究者海外派遣支援

女性研究者の海外派遣を支援し、海外の優れたキャリアモデルに学ぶことによるマネジメント能力の向上、国際的な研究ネットワークの構築、派遣中の研究専念と国際共同研究による研究力向上・国際共著論文の増加、海外での生活による語学力の向上を図ります。

今年度は本支援に6名の女性研究者が採択され、海外で研究活動を行いました。

令和4年度採択者

採択者	派遣先	派遣期間
人間社会研究域法学系・教授	レーゲンスブルグ大学/ケルン大学(ドイツ)	令和4年12月1日~12月9日
人間社会研究域経済学経営学系・教授	シンガポール国立大学(シンガポール)	令和5年3月6日~4月25日
がん進展制御研究所・教授	Fox Chase Cancer Center, Temple University Hospital/12th AACR-JCA Joint Conference: Breakthroughs in Cancer Research-Translating Knowledge into Practice (米国)	令和4年12月7日~12月16日
環日本海域環境研究センター・助教	スイス連邦工科大学ローザンヌ校(スイス)	令和4年6月18日~10月17日
環日本海域環境研究センター・博士研究員	モンゴル国立大学(モンゴル)	令和5年3月24日~4月9日
国際機構・准教授	Rhön Biosphere Reserve/Eberswalde University for Sustainable Development(ドイツ)	令和4年5月14日~5月20日



1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革



1

女性研究者の研究力強化と
それによる上位職への登用促進

ABC 海外派遣に向けた英語研修

女性研究者・博士後期課程女子学生を主な対象に、海外生活において必要な英語でのコミュニケーションスキルの向上を目指すことを目的として会話を中心とした授業を実施しました。

参加者からは、参加型の研修は実践的に英語を学ぶことができよかったと好評で、海外での生活をイメージしながら、それぞれが刺激し合い学べる機会となりました。

「女性研究者のための英語研修」

講師 金沢大学非常勤講師 大谷 マーシャ 氏

角間キャンパス

会場 金沢大学自然科学館本館1階 ワークショップ1,2

日時 令和4年6月6日(月) 2限, 3限

令和4年6月7日(火) 2限, 3限

令和4年9月27日(火) 2限, 3限

令和4年9月29日(木) 2限, 3限

鶴間・宝町キャンパス

会場 金沢大学保健学類1号館2階1217講義室アクティブラーニングスペース

日時 令和4年6月18日(土) 10:00~12:00

令和4年6月30日(木) 3限, 4限

会場 金沢大学附属病院CPDセンター(外来診療棟4階)

日時 令和4年10月13日(木) 3限, 4限

オンライン

日時 令和4年8月27日(土) 10:00~12:00



2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

3

より広いダイバーシティ研究環境の
形成に向けた意識啓発・行動改革



女性研究者大型研究費申請支援

大型研究費に申請した女性教員を対象に研究費を助成することにより，女性研究者の大型研究費への挑戦的な申請と採択を後押しし，女性研究者の上位職登用につなげます。

今年度は本支援に12名の女性研究者が採択されました。

令和4年度採択者

採択者	支援対象の研究費
融合研究域・助教	科学研究費・基盤研究(B)
人間社会研究域・准教授	JST-RISTEX科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム
理工研究域・教授	科学研究費・基盤研究(S)
理工研究域・准教授	科学研究費・学術変革領域研究(A)・計画研究
医薬保健研究域・教授	三菱財団自然科学研究助成
医薬保健研究域・准教授	科学研究費・国際共同研究強化(B)
医薬保健研究域・助教	JST・さきがけ
医薬保健研究域・助教	科学研究費・挑戦的研究(開拓)
附属病院・特任助教	JST・創発的研究支援事業
がん進展制御研究所・教授	科学研究費・挑戦的研究(開拓)
ナノ生命科学研究所・教授	AMED
環日本海域環境研究センター・教授	JST・SATREPS

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

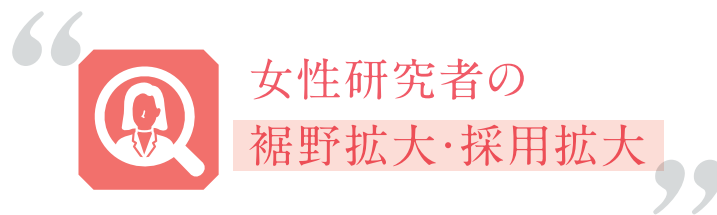
3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

◆ 事業 2

1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進



大学間人材交流調査

パートナーとの同居・別居実態調査

女性研究者の別居婚の解消や別居婚世帯への支援策を検討することを目的として、令和3年度に金沢大学で先行して実施した「パートナーとの同居・別居実態調査」を、全国ダイバーシティネットワーク組織 東海・北陸ブロックにて協力を依頼し、静岡大学、富山県立大学の2機関にご協力いただきました。

金沢大学とあわせ、3機関の結果をまとめた報告書を作成しました。報告書は[金沢大学ダイバーシティ推進機構Webサイト](#)に掲載しています。

- パートナーとの同居・別居実態調査 調査報告書 (PDF)

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大



博士後期課程の女子学生育成

博士後期課程・博士課程女子学生育成支援制度

金沢大学の「次世代精鋭人材創発プロジェクト」による経済支援に加え、博士後期課程女子学生の育成に関する取組を支援することにより、女性研究者の裾野拡大につなげます。また、メンターチームリーダーには必ず女性教員を配置し、キャリア形成へのサポートすることとします。

今年度は5件のメンターチームを採択し、5名の女子学生の育成を支援しました。

採択者	メンターチームリーダー	支援対象者
人間社会研究域・教授	融合研究域・教授	人間社会研究科・博士後期課程1年
人間社会研究域・教授	人間社会研究域・教授	人間社会研究科・博士後期課程1年
理工研究域・教授	理工研究域・助教	自然科学研究科・博士後期課程2年
理工研究域・教授	環日本海環境研究センター・教授	自然科学研究科・博士後期課程3年
医薬保健研究域・教授	医薬保健研究域附属AIホスピタル・マクロシグナルダイナミクス研究センター・准教授	医薬保健学総合研究科・博士後期課程2年

3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

講演会「理系女性研究者として思うことー地方国立大のモデルケース」**日時** 令和5年3月3日(金) 10:30~12:00**会場** 金沢大学角間キャンパス 自然科学本館1階 106講義室**講師** 信州大学理学部理学科・教授 山田 桂 氏

博士後期課程・博士課程女子学生育成支援制度の採択者による企画講演会を開催しました。講演では、女性研究者としてのキャリア、自身のライフステージの変化に伴う研究戦略の最適化、女性研究者をとりまく社会や環境の変遷と現状などについて語られ、研究者を目指す女子学生にとって自身の将来像を考える機会となりました。

ロールモデル動画「理工系研究者へのススメーWe are rooting for you!」

博士後期課程・博士課程への進学促進の一環として、理系で活躍している女性研究者3名に焦点をあてたロールモデル動画を公開しました。動画は[金沢大学ダイバーシティ推進機構のWebサイト](#)および、[金沢大学のYouTubeチャンネル](#)にて公開中です。

- ロールモデル動画「理工系研究者へのススメーWe are rooting for you!」特設ページ

**ICTを活用したクロスアポイントメント制度の充実**

多様な女性研究人材の採用の拡大や、育児・介護休業中の代替確保の容易化に向け、ICTを活用したクロスアポイントメント制度を構築します。

**分野別人材交流会開催支援**

産官学の人材交流を活性化するため、所属する学会等で研究者・技術者および女子学生の交流を促す取り組みを、リーダーシップをとって企画することを支援します。

今年度は2件の女性研究者交流会の開催を支援しました。

令和4年度採択者

採択者	分野
設計製造技術研究所・教授	機械工学分野
新学術創成研究機構・准教授	医薬保健分野

◆ 事業 3

“



より広いダイバーシティ研究環境の
形成に向けた **意識啓発・行動改革**

”

1

女性研究者の研究力強化と
それによる上位職への登用促進



男性育児休業取得促進

ダイバーシティ推進機構 ワークライフバランス部門キックオフ・
令和4年度男性育児休業取得促進セミナーの開催

日時 令和4年10月24日(月) 13:00~14:30

形式 オンライン開催

オンデマンド配信

(期間 令和4年12月1日(木)~令和5年1月31日(火))

講師 東京大学大学院経済学・教授 山口 慎太郎 氏



2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

男性教員の育児休業取得促進を趣旨とし、学外を含む大学教職員および学生を対象に「男性育児休業取得促進セミナー」をオンラインにて開催しました。東京大学大学院経済学・教授 山口 慎太郎 氏から、「男性育児」の経済学と題し、日本における育児休業の現状、本人と家族にとっての男性育児のメリット、海外ではどう男性育児取得を進めたかなど、データを示しながらご講演いただきました。

学内外から幅広く参加があり、参加者からは「男性育児取得によるポジティブな影響を学べた」、「データを示しながら解説いただけた点がとても参考になりました」という感想をいただき、男性が育児に関わることの大切さや必要性について考えるきっかけとなりました。

本セミナーは学内向けにオンデマンドで視聴可能な形でも公開しました。

金沢大学出産・育児・介護ガイド

育児・介護休業法の改正に伴い、本学の出産・育児・介護ガイドの内容を改訂し、必要な時すぐに閲覧しやすいようにWeb冊子を作成しました。

これらは本機構Webサイト内の「**お子さまが産まれる予定の方へ**」のページで紹介しています。

また、**金沢大学における男性育児休業についての説明動画**を金沢大学アカンサスポータルLMSコースにて2月1日より掲載し、学内者がいつでも視聴できるようにしています。



- 金沢大学出産・育児・介護ガイド(常勤職員用)
- 金沢大学出産・育児・介護ガイド(非常勤職員用)
- お子さまが生まれる予定の方へ
- 金沢大学における男性育児休業についての説明(学内限定公開)

3

より広いダイバーシティ研究環境の
形成に向けた意識啓発・行動改革

男性育児休業取得啓発ポスター

男性育児休業取得促進には職場全体の理解が重要となることから、本学全体の意識啓発を図るためにポスターを作成しました。ポスターは学内各所に掲示しています。



女性教員の業務マネジメントサポート

金沢大学ダイバーシティ推進機構ワークライフバランス部門(旧ワークライフバランスサポートオフィス)において、女性研究者の教育・運営に関する相談や教育に関するクロスアポイントメント制度の活用を提案を行っています。



ダイバーシティ研究推進機構キックオフシンポジウムの開催

日時 令和4年8月10日(水) 13:30~15:10

形式 対面およびオンライン

令和3年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に選定されたことを機に、男女共同参画の推進にとどまらない、より包括的なダイバーシティ教育研究環境の実現に向けて、令和4年4月に「ダイバーシティ推進機構」を設置し、すべての人を対象に、誰も置き去りにしない社会を目指すことを目的としてキックオフシンポジウムを開催しました。

本機構の機構長および各部門長から取組紹介が行われ、基調講演では国連事務局経済社会局障害者権利条約事務局チーフ 伊東 亜紀子 氏をお迎えし、「より広いダイバーシティ環境実現への布石」をテーマに、シカゴ大学やカリフォルニア大学バークレー校の自由な風土で学ばれた経験や、国連のダイバーシティに関する取組について、またダイバーシティ推進におけるリーダーシップについての考えと大学が果たすべき役割についてご講演いただきました。

当日は、大学、企業、行政機関などから約100名の方々にご参加いただき、参加者は、ダイバーシティを当たり前のことと受け止め、日々実践することの重要性について改めて理解を深めました。





1

女性研究者の研究力強化とそれによる上位職への登用促進

Program

- 13:30- -----
開会挨拶／金沢大学長 和田 隆志
- 13:35- -----
来賓挨拶／文部科学省 科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室室長 岡 貴子 氏
- 13:40- -----
ダイバーシティ推進機構の紹介
- 14:15- -----
基調講演／
「国連におけるダイバーシティとインクルージョンの推進～誰も置き去りにしない社会を目指して～」
- 15:05- -----
閉会挨拶／ダイバーシティ推進機構長 山岸 雅子

2

女性研究者の裾野拡大・採用拡大

etc その他の取組

金沢大学ワーク・ライフ・バランス推進宣言

育児や介護といったライフイベント中の構成員等に対する意識改革と、ワーク・ライフ・バランスの支援体制を整備し、構成員自らの資質と能力を十分に発揮できるよう令和4年10月21日付けで金沢大学学長より「金沢大学ワーク・ライフ・バランス推進宣言」を发出し、令和4年11月22日には80名の管理職の方に賛同いただきました。

また、学内に広く周知を図るためポスターを作成し掲示いたしました。宣言文とポスターは、[金沢大学ダイバーシティ推進機構のWebサイト](#)にも掲載しています。

- 金沢大学ワーク・ライフ・バランス推進宣言



3

より広いダイバーシティ研究環境の形成に向けた意識啓発・行動改革

介護セミナー

学内の教職員を主な対象に、仕事と介護の両立に向けた、介護の基本知識や留意点、介護保険サービスの利用方法などについて学べるように講義資料を用意したセミナー動画を配信しました。

- 形 式** オンライン開催
- 配信期間** 令和4年12月26日(月)～令和5年3月31日(金)
- 講 師** 株式会社wiwiw キャリアと介護の両立相談室長 角田 とよ子 氏

男女共同参画推進ユニット スタッフ

ユニット長・キャリアデザイン部門長

長谷部 徳子／環日本海域環境研究センター 教授

ワークライフバランス部門長

柿川 真紀子／理工研究域生命理工学系 准教授

次世代育成部門長

児玉 昭雄／新学術創成研究機構 教授

ユニット協力教員

眞鍋 知子／融合研究域融合科学系 教授

古畑 徹／人間社会研究域歴史言語文化学系 教授

新井 豊子／理工研究域数物科学系 教授

佐藤 涉／理工研究域物質化学系 教授

森下 英理子／医薬保健研究域保健学系 教授

中島 美紀／ナノ生命科学研究所 教授

滝口 昇／理工研究域フロンティア工学系 准教授

西脇 ゆり／融合研究域融合科学系 助教

ユニット職員

江口 友佳子／特任助教

福士 美和／ワークライフバランス部門相談員

瀧本 奈々／事務補佐員